



Fw: 東北 Fan Meeting

情報インフラで 地域産業の未来の描き方 について考える



参加費
無料

定員
30名

主催
復興庁



日時

2019

6/20 (木)

19:00~21:00

場所

フジクラ イノベーションハブ
[BRIDGE]

東京都江東区木場1-1-1 フジクラ東京R&Dセンター7階

【最寄り駅】

◆東京メトロ 東西線 木場駅 4b出口 徒歩9分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

<http://bit.ly/2R7mZJQ>



◆ Fw:東北 ホームページ

<https://www.fwtohoku.com>



◆ フェイスブックページ

@fwtohoku



情報インフラで地域産業の未来の描き方について考える

日時 2019.6.20(木) 19:00~21:00 (開場 18:30) 場所 フジクラ イノベーションハブ [BRIDGE]



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



企画趣旨

福島第一原発から北に40kmに位置する福島県相馬市は、事故後、避難指示区域には指定されなかったものの、主要産業である漁業は操業制限を受け、人々は経済面の制約が大きい中での生活を余儀なくされています。こうした中、地域の産業構造や、子どもたちが描く将来像が、大きく変わりつつあります。

復興支援センターMIRAIの押田一秀氏は、震災後の相馬市で、朝市や音楽イベントなどを通じたコミュニティ支援事業のかたわら、2014年から市内の事業者の実態調査を始めました。これまでに1000人を超えるボランティアの協力を得て、市内をくまなく歩き、事業所の数や営業の有無、事業内容、震災前後での経営状態の変化などについてヒアリングを重ねました。その成果をまとめたデータブック「相馬INDEX 2018」からは、一般的なイメージとは大きく異なる、相馬の産業の「いま」が見えてきています。

地域の人々が誇りを持ち、子どもたちの将来につながる相馬市の「これからの産業」を生み出していくために、これらのデータをどのように活用していくか。復興支援センターMIRAIの取組から、沿岸地域でのデータ活用と、地域産業のこれからの道筋について考えます。

登壇者 ※順不同/敬称略

◆ 押田 一秀 (復興支援センターMIRAI 所長)

震災直後からアーティストのパフォーマンスを通じたコミュニティ支援活動を開始。東北各地で活動する中で、福島県相双エリアは復興への道程が困難と感じ、相馬市に腰を据えて支援活動に取り組む。2011年7月に設立した「相馬はらがま朝市」では60名を超える雇用創出に成功。2012年3月には、地域住民の心の拠り所となる復興レストラン「報徳庵」をオープン。同年8月には、復興関連事業の企画制作や産業創出のサポート施設「復興支援センターMIRAI」を設立。地元に着目すると同時に“よそ者”の視点を重視したニーズ/シーズの見極めを行い、地域産業育成やNPO団体と行政の連携強化に尽力する。

プログラム(予定)

19:00	開会メッセージ
19:05	インプットトーク 「データから考える相馬の地域産業の今とこれから(仮)」 復興支援センターMIRAI 押田一秀氏
19:30	テーブルダイアログ 「相馬市を活気づかせるためのデータ活用を考える」 ●テーマ・論点解説(19:30-19:45) ●グループ毎のダイアログ(19:45-20:20)
20:20	発表タイム
20:30	登壇者コメント
20:35	Fw:東北活動紹介
20:40	閉会メッセージ/集合写真撮影
20:45	交流タイム(~21:00)

こんな方にオススメ!

- ・オープンデータの活用による地域づくりに関心のある方
- ・東北の地域産業の変化やこれからのあり方に関心のある方
- ・産業振興に向けたデータの加工や活用を支援したい方
- ・東北との新しいかかわり方に関心のある方
- ・その他、本イベントに関心のある方 等

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協会による、「Fw:東北」の取組、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間23本程度を予定)します。